

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

福井県 越前市

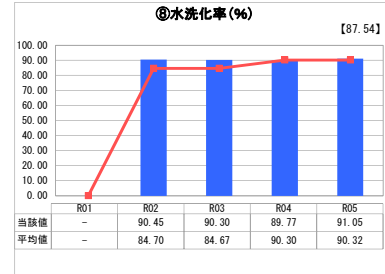
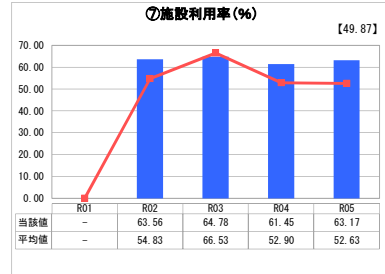
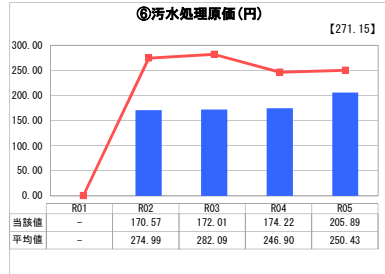
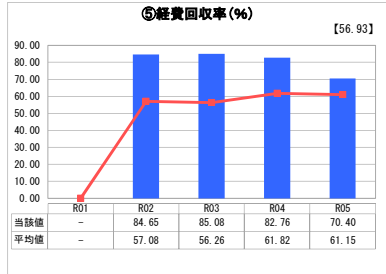
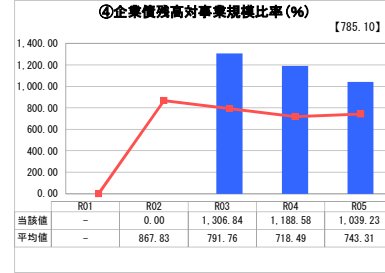
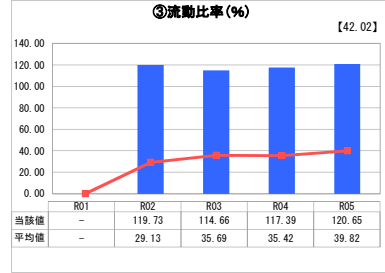
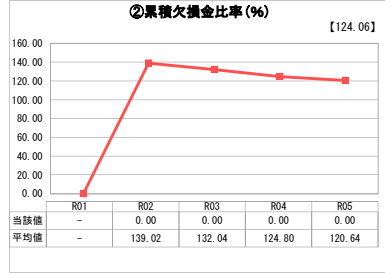
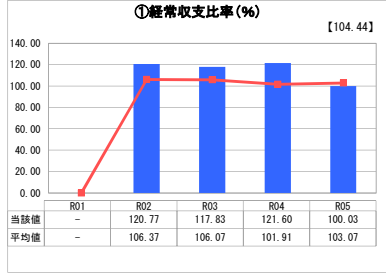
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	76.70	4.08	77.20	2,673

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
79,907	116.98	683.08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,273	1.51	2,167.55

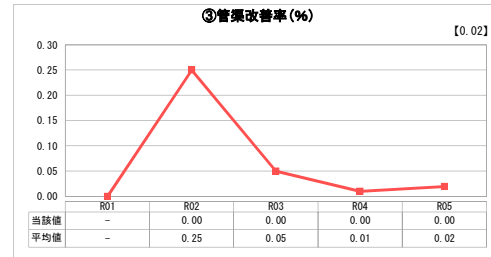
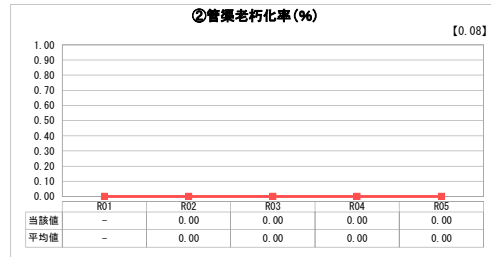
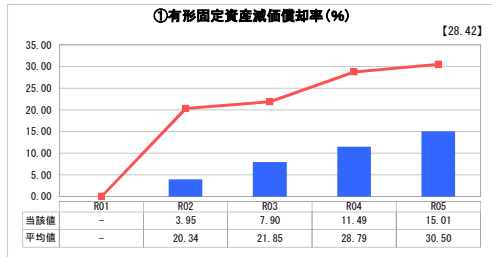
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、昭和62年度から平成25年にかけて全6地区で供用開始し、令和2年度から地方公営企業法の全部適用を受けた。水洗化率、使用料収入や経費管理その他経費に大きな変化はない。ただし、①については、一般会計より基準外繰入を受けての結果であり、今後は企業会計決算の分析を進め、さらなる経営健全化に取り組む必要がある。また、令和5年度は国庫補助100%事業等を実施したことにより、⑤経費回収率が低下し、⑥汚水処理原価が上がった。

### 2. 老朽化の状況について

管渠については耐用年数を超えたものはないが、農業集落排水処理施設6箇所のうち、2箇所は公共下水道への統合を検討している。残り4箇所については、R01に平岡地区農業集落排水施設の調査を行った。R05には白崎地区農業集落排水施設の更新工事と安養寺地区農業集落排水施設の調査を予定している。老朽化している管渠については順次更新を行う。

### 全体総括

本事業は、平成25年に整備が完了した地区を除き、概ね水洗化は完了しており、今後大幅な使用料収入の増加は見込めない中、資金不足を補うために基準外繰入を受けている状況にある。しかしながら、今後も事業を安全に、安定的に継続していくためには、未接続者の切替動奨(⑧の改善)による収益増加と、ストックマネジメント計画に基づく効率のかつ効果的な事後保全、予防保全が非常に重要である。また、適正な使用料の検討や地元区長との連携による地域ぐるみでの水洗化促進、大口需要家への接続動奨、滞納整理の強化、水道事業との業務一元化やアウトソーシング推進による経費削減に取り組むとともに、公共下水道への統合なども検討し、経営改善を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。